

vol.

110

2022

12/23 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

民生委員・児童委員の一斉改選	2	つながる地域つなぐてとて	6
岩手県社会福祉大会各種表彰	3	社協からのお知らせ	7
できごとフラッシュ	4～5	Topics	8

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

岩手県社会福祉大会各種表彰 おめでとうございます!

10月28日、岩手県民会館で岩手県社会福祉大会が開催されました。
約3年ぶりの全県参集開催となり、一戸町からは表彰受賞者のうち7名の方が会場での授賞式に参加しました。
表彰式後は東日本大震災をテーマとしたトークセッションが行われ、震災時の民生委員の役割や連携について熱心に耳を傾けていました。
受賞された皆さま、おめでとうございます。

表彰受賞者（敬称略）

岩手県社会福祉大会会長表彰

【社会福祉事業功労者（4名）】（民生委員・児童委員）

南館 富子
柴田 正栄
田村 正人
工藤 ユキ

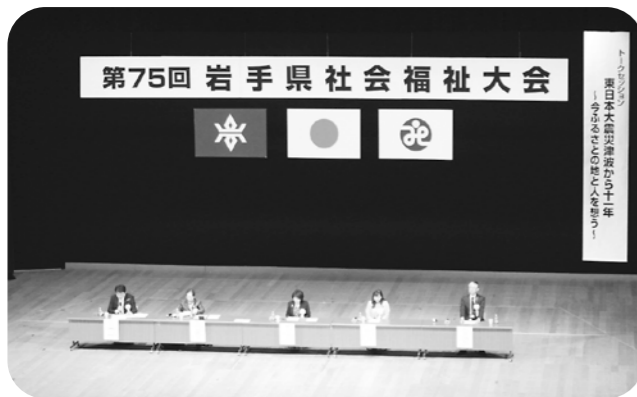
【永年勤続功労者（5名）】

眞山 重博（福カナンの園 理事）
湯口 由紀子（福カナンの園 評議員）
藤村 智子（福カナンの園 ののさわ事務所 事務員）
種綿 久子（福カナンの園 ヒソフ工房 事務員）
田中 真樹（福手県社会福祉事業団 障害者支援施設りんどろっく 業務係長）

岩手県民生委員児童委員協議会長表彰

【永年勤続民生委員・児童委員（14名）】

平井 郁子 米田 キヌ
市澤 昭治 畑中 美枝子
峠 由美子 永田 房子
八森 百合子 高屋敷 亮
安江 幸子 福田 勝
門馬 久子 釜石 文雄
小野寺多美子 松野 あい子



トークセッションの様子



社会福祉大会表彰受賞者の皆さん

「ひとりじゃない」… そう思える一戸町に 民生委員・児童委員の 一斉改選



退任民生委員・児童委員への感謝状伝達



民生委員・児童委員委嘱状伝達式及び町社会福祉委員委嘱状交付式

11月30日任期満了により、民生委員一斉改選が行われました。それに伴い、12月1日辞令交付式がコミュニティセンターで開催され、退任・新任となる皆さんが顔を合わせました。
一戸町内では、今回退任となられた方は21名、新任となる方は20名です。これまで現任の方が行ってきた活動は新任の民生児童委員へ活動が引き継がれます。
民生児童委員は行政・専門機関等と連携しながら、地域住民のつなぎ役として担当地区ごとに活動しています。困った時や災害時、その他さまざまな場面でも民生児童委員は地域に寄り添って欠かさない存在です。
地域や生活の中で気になることや心配があるとき、まずは民生児童委員に相談してみませんか。

任 期：令和4年12月1日～令和7年11月30日
色付きは新任 ※は選任中の地区
事務局：一戸町社会福祉協議会内（一戸町一戸字砂森93-2 / 電話0195-33-3385）

一戸町民生委員・児童委員一覧

越田橋	齊藤 レイ	上女鹿	猪股 正光	野里・中屋敷	家子 美奈子
八幡町	※	蛇ノ島・上小友・大谷地	本木 伸行	仁昌寺	大欠 まり子
下町	坂本 光男	小友1・2	釜谷 一美	稲荷・中村・道地・駒木	中村 孝子
小井田	根反 千鶴子	半在家・下小友	東山 正志	高屋敷・若子内	高屋敷 亮
横町・中町	一井 充一	袖子田・中里2	工藤 ユキ	平糠1.2.3(落合)4.5	柿木 のり子
上町・北館	齊藤 吉夫	中里1・赤屋敷	館 京子	小繫	立花 敦子
袋町1	熊澤 与徳	泉田・月館稲荷・赤屋敷	清川 セイ子	田子	立花 聡
袋町2	袋館 龍太郎	大屋敷・上月館	荒屋敷 和子	火行・田中開拓	土坂 栄子
向町	千葉 隆正	岩清水・泉沢	泉久保 義昭	姉帯1(侍村・野馬鹿・川久保)	道合 マサエ
野田・野田坂	野坂 小夜子	出ル町・与羽	向久保サナエ	姉帯2(門前・鬼淵・馬場)	中村 奈緒子
中道・永代町	峠 由美子	平船・楢山	中村 育子	姉帯3.4(下村・名子根・上里)	小野寺 久人
中田	八森 百合子	双畑	下谷 悦夫	面岸・面岸開拓	田村 晴彦
古館平	安江 幸子	来田	瀧澤 昌弘	奥中山1	中島 弘身
樋ノ口・小滝	門馬 久子	八木沢	田村 夕工	奥中山2.3	福田 勝
西法寺	関上 陽子	川原田平・悪戸平	鈴木 昭二	奥中山4	白畑 幸雄
稲荷	鳥海 洋子	過利石・滝ノ沢・中野平	柴田 正栄	摺糠・切掛・軽井沢	中島 新
駅前・諏訪野	小野寺多美子	沢田	田頭 忠	宇別	西館 重昭
元諏訪野	小野寺美智子	田中・子守・地切	穴久保 孝雄	旧中山・釜石	釜石 文雄
関屋1	畑中 美枝子	中瀬・野崎・中村・野磯鶏	三合堂 桂子	笹渡・二戸郷・家向	坂本 正幸
関屋2・女鹿口	田村 みえ子	小姓堂・川又・野中	女ヶ澤富士雄	日蓄・岳川・豊ヶ丘	松野 あい子
女鹿・下女鹿	女鹿館 千福	穴久保・女ヶ沢	澤瀬 義政	上下田子・袖ヶ沢	早坂 隆

主任児童委員

一戸・鳥海・浪打 南館 富子 小島谷 西條 せい子 奥中山 久保 みどり

多年にわたる地域貢献に敬意を表して 100歳長寿祝い



田坂ミセ様(中央)とご家族。

7月21日、田坂ミセ様が100歳のお誕生日を迎えられ、一戸町と一戸町社会福祉協議会から花束や長寿祝い品が贈呈されました。

贈呈式はご家族によって装飾されたご自宅で行われ、華やかな色の衣装を身にまとった田坂様はご家族と一緒に和やかな表情をカメラに向けてくださいました。どうぞいつまでもお元気でお過ごしください。

いつまでも仲良く寄り添って めもと長寿祝2022第2弾



宇別 大欠一男 様(78歳) トキ子 様(78歳)

いちのへ社協だよりゆいっこ前月号(10月28日発行、vol.109)でご紹介した「めもと長寿祝2022」の第2弾として、11月7日、大欠一男様トキ子様ご夫妻の写真撮影が行われました。

写真撮影は、前回同様高村正彦写真館様のご協力により行われ、夏とはまた違った秋の訪れが感じられる一枚となりました。

お二人の素敵な笑顔が、いつまでも続きますように。



1 高齢者の買い物に寄り添うオレンジカフェさくらの会のお買い物サポーター。

2 ジョイス一戸店に設置されたおもしろ優先レジ。高齢者等が安心安全に買い物することができる。

高齢者が安心して 外出や買い物を楽める町に お買い物サポーター始動

オレンジカフェさくらの会(柏葉英美代表)と一戸町社会福祉協議会は、11月17日、ジョイス一戸店で高齢者の外出意欲の向上や住民同士の交流の機会の創出を目的としたお買い物サポーターによる高齢者等の買い物支援を行いました。

オレンジカフェさくらの会のボランティアスタッフが、来店した高齢者等に声をかけ商品選びや精算レジ操作等をサポートしました。当日は隣接したフロアにくつろぎスペースを設置し、利用した住民は買い物だけでなくお買い物サポーターとの交流も楽しんでいました。

今後も、企業や地域、医療福祉関係機関が連携し合い活動の継続を図っていききたいと思います。(P7参照)



1 高校生ボランティアが制作した手作りおもちやで遊ぶ子どもたち。

2 ボランティアが調理した弁当。食材の多くは二戸地域の企業等により寄付されたもの。



大自然を満喫 小鳥谷学童クラブ秋の遠足



思う存分楽しんで笑顔の子どもたち全員で記念写真。

小鳥谷学童クラブでは、10月17日、小学校の代休を使って奥中山高原へ秋の遠足に行きました。

つりぼりやアスレチック、初めてのスラックラインやトランポリン等、子どもたちは大自然の中で思い思いの遊び方でおもいきり体を動かして楽しみました。

体を動かした後は雪あかりのジェラートを食べ、心も身体も満たされた1日となりました。

季節を感じる食育 小鳥谷保育所芋ほりと焼き芋会



大きく育ったサツマイモを手に嬉しそうな小鳥谷保育所の園児たち。

10月12日、小鳥谷保育所では保育所の畑で育てたサツマイモの収穫を行いました。

みんなで力を合わせ、引っ張ったり手やスコップで土を掘ったりして、大きな芋がたくさん取れました。

11月1日には、収穫した芋で焼き芋会をしました。焼ける前から楽しみにしていた子どもたちは、自分たちで育てたホクホクの焼き芋を美味しく頬張り、季節ならではの“食”を堪能しました。

地域福祉活動助成金制度のお知らせ

各地域において、世代交流や地域福祉事業を行うために必要な活動費や機器等整備費を助成し地域活動を支援します。

▶ ゆいっこ活動資金助成事業

助成対象：町内の町内会、公民館、ボランティア団体、住民による自主団体、小中学校等
 助成対象事業：見守りや訪問、生活支援活動、ボランティア活動、奉仕作業、世代交流等
 助成金額：総事業費の80%以内、年間上限5万円(1団体につき最大3年間助成可能)
 申請方法：問合せ先窓口へ電話又は来庁後、書類により申請(書類は郵送、または問合せ先HPよりダウンロード可能)
 申請締切：令和5年2月3日(金)
 問い合わせ：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)

▶ 一戸町社会福祉基金福祉活動及び施設整備助成事業

助成対象：町内の社会福祉法人、公益法人(一般財団法人及び一般社団法人含む)、特定非営利活動法人、住民による自主団体等
 助成対象事業：福祉施設を拠点とする活動、法人や団体が行う福祉活動、福祉活動に必要な機材等の整備や施設の修繕等
 助成金額：総事業費の90%以内、上限150万円(令和5年度助成総額は380万円を予定)
 申請方法：問合せ先窓口へ電話又は来庁後、書類により申請(書類は郵送、または問合せ先HPよりダウンロード可能)
 申請締切：令和5年2月3日(金)
 問い合わせ先：町社会福祉基金事務局(一戸町社会福祉協議会内 TEL 0195-33-3385)

日常生活自立支援事業 (あんしんねっと)のご案内

高齢の方や障がいをお持ちの方で、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理の判断が不十分な方をサポートする事業です。

サービス内容：
 ①福祉サービスを安心して利用するための援助サービス
 ②日常のお金の出し入れをサポートする金銭管理サービス
 ③大切な書類等を安全に保管する書類等預かりサービス
 利用料：1回1時間当たりおおよそ1,300円(相談は無料)
 問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

一戸町宅配食事サービスをご利用ください

一戸町社会福祉協議会では、町内在住で高齢や障害等により調理が困難な方を対象に、安否確認を兼ねた宅配食事サービスを行っております。安心安全を運ぶ宅配弁当はいかがですか？
 料金：1食400円(配達料無料)
 提供エリア：一戸町内全域
 提供日：毎週水曜日の昼食時間帯(土日祝日、年末年始を除く)
 問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

ジョイス一戸店にお買い物サポーターを配置します!!

買い物に来て品物選び、支払い等が大変だと感じていませんか？
 皆さんのお買い物を「お買い物サポーター」が必要に応じてお手伝いします。どなたでもお気軽にご利用ください。
 日時：令和5年1月19日(木)、2月16日(木)、3月16日(木) 午後1時00分～午後3時00分
 場所：ジョイス一戸店
 内容：①品物選びや支払い、袋詰め等のお買い物サポート
 ②ゆっくりお会計できる「おもいやり優先レジ」の設置
 ③住民同士の交流を図るくつろぎスペースの設置
 問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)
 申し込み：問合せ先へお電話でお申込ください。(事前予約なしでの参加も可能)



ボランティアと作業を行う奥中山高原応援隊西館貴典隊長(左)。

つながる地域 つなぐて・とて part 12

奥中山高原応援隊

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり。誰もが自然に手を差し伸べ合い、助け合える地域づくり。そんな光景を再び一戸に取り戻したい…。社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは、町内の住民主体の活動によって地域が元気になり「つながり」が生まれていく様子をシリーズで紹介していきます。

8月3日大雨災害 被災農家に希望の光を



今年8月3日の大雨災害によってマルチに泥が溜まった畑。

令和4年8月3日、岩手県をはじめとする北東北では朝から昼過ぎにかけて記録的な大雨となりました。一戸町においても、各地で床上床下浸水、道路の決壊、農地や農作物に甚大な被害をもたらしたことは、今もみなさんの記憶に色濃く残っていることと思います。なかでも一戸町の主要作物であるレタス等を栽培する奥中山地域は、出荷不能、農業所得の大幅な減少等深刻な被害を受けました。その上、泥や土砂が流入した広大な農地の片付けにも時間や人手を要し多くの農家が苦慮していました。「落ち込んでいる被災農家に何らかの光を導きたい」その

IGRいわて銀河鉄道や奥中山高原株式会社等地元企業の協力を受けて、9月26〜27日の計2日間に亘り農業ボランティアの受け入れを行いました。町外より3名のボランティアが参加し、

「落ち込んでいた被災農家に希望の光を」を掲げ、被災農家の有志等が集い、被災農家へボランティアを導入し被災した圃場の整備等を支援すること、それをきっかけにボランティアと農家の交流や地域の農業の活性化につなげたいと今年9月から活動を開始しました。



被災した畑の作業だけでなく収穫体験等を通じて交流を深める地元農家とボランティア。

農作業を通じて地域を元気にする人とのふれあい

被災当初から、収入がなくなってしまう不安から塞ぎこむ農家、復旧を諦めリタイアする農家も少なくないといえます。「ボランティアの受け入れを通じて塞ぎこんでいる人たちに活力を、地域に元気を」と西館隊長は思いを熱くします。この町に訪れた災害というピンチは、住民同士が自らの力で地域を何とかしようとする自助、共助の再構築だけでなく、これからの地域づくりに向けた希望の光をも導きだしてくれたのかもしれない。



各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	12月27日(火)	12月20日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	令和5年 1月10日(火)、1月24日(火)	1月17日(火)		
	2月14日(火)、2月28日(火)	2月21日(火)		
	3月14日(火)、3月28日(火)	3月22日(水)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 0195-43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385

寄付御礼

(令和4年10月～令和4年12月取扱分)
一戸町社会福祉協議会への寄付

◆お話ランド

代表 坂下智子様

人形劇や読み聞かせに使用する道具等



お話ランドは、コロナ禍での活動自粛、会員減少等により解散することとなりました。読み聞かせボランティアとして長年にわたり地域活動にご尽力頂きました。ありがとうございました。

◆鳥越川原田女性部さくらの会

代表 柴田孝子様

子ども用マスク
(布マスク85枚、使い捨てマスク115枚)、雑巾



頂きましたご寄付は、児童福祉事業推進のため活用させていただきます。ありがとうございました。

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

・ウクライナ人道危機救援金

(受付期間：令和5年3月31日まで)

・令和4年8月3日からの大雨災害義援金

(受付期間：令和5年3月31日まで
[各支部 山形、石川、新潟、福井])

その他、各種国外義援金、救援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)までお問い合わせください。

〈お詫びと訂正〉令和4年10月28日発行の「いちのへ社協だよりゆいっこ」vol.109号、12ページにつきまして、次の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】西館保健サービス(有) 【正】西館保険サービス(有)

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって替えさせていただきます。

応募方法

▶ はがき

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」

▶ メール

ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp

編集後記

厳しい寒さが続き、山も白いコートを身にまとっているようです。私はここ最近の朝の寒さと暗さに慣れず、なかなか布団から抜け出せない毎が続いています。

さて、今月でゆいっこは年内最後の発行となりますが、記事を振り返りながら今年もあっという間に走り抜けたなあと改めて実感しています。そして、様々な地区にお邪魔させて頂き住民の皆さんとつながりが増えていくにつれて、ますます一戸町が大好きになった一年でもありました！

来年は福祉情報を通じてさらに皆さまに一戸の魅力をお伝えできるように頑張ります。皆さん、良いお年をお迎えください。(高橋)

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312
一戸町一戸字砂森93-2
(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385
FAX 0195-33-2737
ホームページ
<https://ichinohe-shakyo.jp/>

